

1 校訓

人間としてかがやく

2 学校教育目標

人間尊重の精神に基づき、校訓「人間としてかがやく」をめざし、知性と感性に富み、健やかでたくましく生きる生徒を育成する。

3 めざす生徒像

- (1) 学ぶことに興味・関心を抱く生徒
- (2) 人前で自分を語る表現力・発信力を身に付けた生徒
- (3) 生徒会の一員として、委員・係・当番としての責任を果たす生徒

4 教育目標達成のための基本方針

社会を構成する一員としての自覚を育む

質の高い教育により、社会人としてふさわしい「資質・能力の基盤」を育成する

5 方針の重点

一人一人の生徒を大事にする

を根底として
いじめ問題の被害生徒・加害生徒
認知の偏りのある生徒
障がいのある生徒
食物アレルギーのある生徒
登校が困難な生徒
要保護児童 などに適切な対応をとる。

6 組織力の向上と

ウェルビーイングの実現

- ア) 主幹教諭を中心に、分掌主任、学年主任・学級主任を軸とした協働体制を深化させる。
- イ) 教育活動の見える化による理解深化と、学校運営協議会・町会など地域との連携を進め、地域とともに教育活動を充実させる。
- ウ) 校内の専門職や外部機関、外部人材の活用を進め、組織の多様性を高める。
- エ) 互いに授業を見合ったり、外部研修へ参加をしたりする機会を推奨し、授業力の向上をめざす。
- オ) 部活動の地域連携の効率性を高め、生徒と向き合う時間の確保を進める。
- カ) 各分掌や教科において、調査や検査の数値を分析し、検証を踏まえた改善を進める。
- キ) 高所の危険な作業やサービス事故を未然に防止し安心して安全な環境の向上を図る。

7 「育む力」と「取組の重点」

(1) 多様性を認め、対話や協働を通して社会を形成しようとする力

- ① 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる力。
- ② 他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。
- ア) UDの視点から特別の教科「道徳」における「深い思考と議論」をテーマとした教育研究を進める。
- イ) インクルーシブ教育の理解と深化を図り、相互尊重や思いやりを大切にして、人間関係を構築する学びの充実を図る。
- ウ) 探究的な学習を通して、社会的な考え方を身に付け、弁論大会の機会に主張と相互理解を図る年間を通じた学びを進める。
- エ) 情報モラル教育を推進し、正しい対話や協働の理解を深める。

(3) 初発の思考や行動を起こし、自己調整を図って複雑な課題を解決しようとする力

- ⑤ 様々な課題を発見・分析し、必要・有益・正確な情報を見極め、適切な解決手段を考え、行動変容することができる力。
- ア) 「理解していること・できることをどう使うか」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」について自己分析ができる授業を展開する。
- イ) 「他者と対話する授業」、「討議・議論する授業」、「協働により新たな自分と向き合うことができる授業」の実践を推進する。
- ウ) 体験を通して、課題とその解決をめざす学びの機会を設定する。
- エ) 図書館機能を活用し、読書活動や情報収集活動を充実するとともに、タブレットPCなどのICT機器を活用した学びの幅を広げ、創造的な学びを実現する。

(2) 自己を肯定し、主体的・自律的に学ぼうとする力

- ③ 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、自己の可能性を肯定的に受け止め、主体的に行動する力。
- ④ 自らの思考や感情を律して生涯にわたってすすんで学び続けようとする力。
- ア) 指導と評価の一体化を深化させ、自己評価による学びの達成感を獲得し、次の学びにつなげる学習を充実させる。
- イ) 各教科の特性を最大限に生かし、生徒一人ひとりに適する個に応じた学力伸長をめざす学習指導を進める。
- ウ) 能動的に学びに臨む授業の改善を進め、学びの獲得に参画する生徒の声がより響く授業展開をめざした改善を進める。

(4) 自己有用感を高め、社会の関わりの中で自分らしく生きていこうとする力

- ⑥ 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて、多様な生き方に関する価値を理解し、自ら主体的に判断して人格を形成していく力。
- ア) あいさつや好ましい言語環境の向上を通して、コミュニケーション能力を高め、関わりと活躍の機会を充実させる。
- イ) JRC 活動と地域防災活動を軸としたボランティア活動の充実を図り、地域との関わりに対する意識を高める。
- ウ) 職場訪問、勤労留学をはじめとして、体験を通して社会性や専門性に触れ、自らの進路を考える学びを深める。
- エ) 生徒会活動、行事、部活動など多様な他者と関わる機会を充実させ、積極性を伸ばし、自分らしさを磨く教育活動を展開する。